

カタログギフトで教育支援

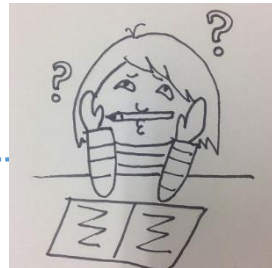
リンベル株式会社 RING BELL

結婚式に招待され出席すると、いただくのがいわゆる引き出物。今は、カタログを引き出物として、出席された方々が自由に選べるといったものも多く見られます。キッチン小物や寝具類、アクセサリからグルメまでさまざまなギフトがあって選ぶことがなかなか難しいという経験をした人も多いのではないのでしょうか。迷ったら食べ物！ という声もよく耳にします。最近では、カタログの中に「チャリティ」というジャンルがあることをご存知でしょうか。



実は昨年秋から、リンベル株式会社が提供しているカタログギフト3種の「チャリティ」ページに、CIESF へのご支援も加わりました。この商品番号を選んでいただくと、あらかじめカタログに設定されている金額が寄付としてカンボジアの教育支援に活かされます。

いつか皆さまの手に、このカタログが届いた際には、選択肢のひとつとしてお考えいただけますと幸いです。“モノ”は届きませんが、途上国に幸せを届けることを証明するささやかなお礼状が届きます。



CIESF ウェブサイトリニューアルへのご支援 ②

【原稿がほぼ完成！】

こんにちは。CIESF 事務局の増子です。ステージグループ様の多大なるご支援によりスタートした、CIESF ウェブサイトリニューアル。11 月と 12 月はコツコツガリガリと原稿を作成しておりました。紙にしたら何十ページ分でしょうか、とにかく文章を考えまくりました。この作業は正直大変でしたが、あらためての発見や学びが多かったです。日々の私の業務では、CIESF の支援活動すべてを隅々まで目を向けることや、理念、設立趣旨、そもそもなぜ支援しているのかなどの根幹部分に立ち返ることもほとんどありません。目の前にある業務を右から左へ機械的に処理していることが多いな、という反省とともに、CIESF という団体の本質を、あらためて知ることができました。サイトマップがとてもうまく作られているんです。このような機会を与えていただいたことに感謝した 2 ヶ月でした。4 月のオープンまで、あと 3 ヶ月。(事務局増子)

●ステージグループ: <http://www.stagegroup.jp/>



CIESF サポーター募集

- 法人サポーター 1口10万円(寄付から1年間)
- スペシャルサポーター 1口5万円(寄付から1年間)
- 個人サポーター 1口1万円(寄付から1年間)

三菱東京 UFJ 銀行 青山支店(店番 608)普通預金
口座番号 0021714
口座名 公益財団法人 CIESF 理事長大久保秀夫

※ゆうちょ銀行、楽天銀行、クレジットカードでのご寄付については、CIESF ホームページをご覧ください。継続的なご寄付に便利な金融機関引き落としもはじめました。

CIESF の支援活動は寄付で成り立っています。皆さまのあたたかいお気持ちをお待ちしております。

編集後記 年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。私は田舎には帰省せず、都会のお正月を過ごしました。3日に箱根駅伝の10区を沿道で応援しましたが、生が初めてだったのでとても感動しました。けど来年は子どものころのように父とこたつに入ってテレビ観戦したいです。(YM)

発行:公益財団法人 CIESF
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-7-5
URD 渋谷第 2ビル 4F



CIESF NEWS LETTER

シーセフ ニュースレター

2016 January

新年号

第 35 号

公益財団法人 CIESF(シーセフ)は、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

あけましておめでとうございます

皆さま、あけましておめでとうございます(←このご挨拶はいつまでしても大丈夫なのでしょう)。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。2008年12月に産声を上げたCIESF(旧一般財団法人カンボジア国際協力支援基金)は、8回目の新年を迎えました。日本人にとってのお正月は、祝い事やフェスティバルという色合いよりも、気持ちを新たに、新たな目標を持つなどの特別なスタートの時であるような風潮があります。私たちCIESFスタッフも、気持ちを新たに、そして目標を再度確認して、今年もはりきって支援活動を行っている所存です。

ご支援・ご協力くださっている皆さま、今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

現場の声に勝る情報はなし! ①

カンボジアの教育について研究している学生さんや教育関係者の方から、「ホームページを見ました。カンボジアの教育について教えてください」といったお問い合わせをいただくことがあります。CIESFのホームページには、カンボジアオフィスのスタッフが発信している「現地レポート」と、「国境なき教師団」の教育アドバイザーとしてカンボジアの教員養成校で活動しているボランティア教師から届く「教育アドバイザーの活動日誌」という2種類のレポートを掲載しています。どちらも不定期で、届くたびに掲載していますが、カンボジアの教育現場の現状や支援活動のリアルな様子がタイムリーにわかります。スタッフであっても、これらのレポートが届くのがとても楽しみなものです。今号から、最近届いた「教育アドバイザーの活動日誌」をあらためてニュースレターにも抜粋を掲載させていただくことにしました。ウェブではお伝えできないポイントも書かせていただきますので、すでに読んだことがある方も再度ご覧いただけますと幸いです。まずは、小学校教員養成校で理科を担当している2人のレポートから。

【カンボジアに「軽石」はあるのか?】 プンペン小学校教員養成校(理科担当) 石澤博通



水祭りの休暇を利用して、ソントウック山というところに岩石(「軽石」)を見に行ってきました。きっかけは、私が一緒に活動しているカウンターパートであり、教員養成校の理科の教官のナネット先生から、「軽石を知っているか?」「手に入るか?」と質問を受けたことでした。日本では、軽石と言えばほとんど誰でも知っている垢すりの道具です。

ポイント!

軽石見学ツアーの言いだしっぺが日本人ボランティアではなく、現地の先生であるというのは、勤務時間外には仕事をしたがらないと一般的に言われていたカンボジア教師像と大きく異なります。熱意のある教師も増えてきています。

カンボジアは、火山国ではありませんので、岩石と言っても「砂岩」しか思いつきません。本当にあるのか？ と疑問でしたが、確かにありました。山頂の本堂のようなところの、水槽の中に浮いていました。ただ、これはこの場所のものではなく、カンボジアのラタナキリ州から持って来たものであるとのことでした。

帰路に、石仏の村と言われている、カカオ村にも立ち寄りました。この村で石仏に扱っている岩石は、ほとんどが砂岩でした。しかし村の産出ではなく、運んで来た砂岩とのことでした。大理石のような変成岩の欠片を見つけ、尋ねてみると、名前は知らないと言われました。プノンペンから運んで来たとのことでした。おそらく、外国から輸入したものをプノンペンから運んだのではないかとの結論になりました。

私のカウンターパートの教官は、ナネット先生のほかにもうひとりいますが、ふたりとも意欲的で熱心な先生です。これから 1 年生の授業もスタートし、本格的な活動となりますが、教員養成校のカンボジア人の教官の更なる知識やスキル向上のため、サポートをがんばっていききたいと思います。

【「顕微鏡の使い方」示範授業】 プレイベン小学校教員養成校(理科担当) 加藤弘昭



プレイベン小学校教員養成校の理科室の棚には、6 台の顕微鏡があります。理科の観察の基本は、何といっても顕微鏡です。水中の微生物を見たり、花粉を見たり、植物の細胞を見たり、気孔を見たり、と用途は多様です。そこで、私のカウンターパート(以下 CP)である 3 名のカンボジア人教官の資質向上のために顕微鏡の使い方の示範授業を行うことにしました。

授業前に「顕微鏡をのぞいたことがある人いますか？」と学生に聞くと、誰ひとりとして手が挙がりませんでした。これが現実です。

ポイント!

教師になる学生でも、顕微鏡をのぞいたことはありません。それでも、顕微鏡というものがあると教科書に書いてあれば、書いてある通りに顕微鏡のことを教えます。リアリティがなく、子どもたちの記憶にも残らないかもしれません。

授業では、玉ねぎの細胞と空心菜の導管を見ることにしました。授業に向け、顕微鏡の使い方の資料を日本語版とクメール語版で作成しました。CP 用には、指導案も作成しました。

授業がはじまると、どの顔も真剣そのものです。学生の視線は、すべて私の手元に集中しました。CP も同様、学生の後ろからじっと見つめていました。授業が進むにつれて、学生たちに自主的に取り組んでみようとする動きが見られてきました。学生たちは、これまで見たこともないミクロの世界にどんどん引き込まれていきました。

学生たちの口からは、

「玉ねぎの細胞がレンガを積んだように見えました。」

「核がはっきり見えました。」

「空心菜の導管が赤く見えました。」

「初めて見て感動しました。」

「うれしかった。」

等々、感動の言葉が続出でした。これが、リアルカンボジアです。

CP は、「次は自分が授業をしたい」と意欲満々でした。CP の指導力を向上させ、学生たちに多様な経験を積ませることにより、質の高い教師を養成していくことはカンボジアの喫緊の課題です。今後も、課題解決に向けて微力ながら全力を尽くしてまいりたいと考えています。

プレイベン小学校教員養成校の 6 台の顕微鏡は、日本のロータリークラブ様からのご支援で寄贈いただいたものです。

ポイント!

学生たちの感動や喜びを知って、カンボジア人教師たちの教える意欲が高まっています。教育アドバイザーである日本人ボランティアが、授業の示範であるだけでなく、現地教師のやる気の起爆剤になっていることがわかります。

スポンサーありがとうございます!

第 6 回カンボジアビジネスモデルコンテストの最終選考会と表彰式が、2016 年 2 月 13 日(土)にプノンペンで開催されます。今回も多くのお客様が、コンテストのスポンサーとなってくださいました。ありがとうございます。以下にご紹介いたします。(順不同・敬称略)

■ ゴールドスポンサー(30 万円)

キリンビバレッジバリューベンダー株式会社
株式会社 FINE TRADING JAPAN
株式会社 ジャスト
株式会社 あなたの幸せが私の幸せ
株式会社 ケイズグループ

□ ブロンズスポンサー(10 万円)

株式会社 タウンズポスト
株式会社 ウラタ
株式会社 ストーン・フィールド



※シルバースポンサー(20 万円)の申し込みはありませんでした。

当日会場にスポンサー企業様のロゴの掲示と、式典でのご紹介をさせていただきます。コンテストの結果と会場の様子は、ホームページと次号以降のニュースレターでお知らせいたします。

ご支援ありがとうございます (11 月・12 月)

CIESF の活動は、多くのサポーターの方々に支えられています。法人サポーターの皆さま(プラチナ・ゴールド・シルバー・ブロンズサポーター他)・個人サポーターの皆さま(スペシャル・個人サポーター・「国境なき教師団」応援団他)には、心より感謝申し上げます。11 月・12 月にご寄付を頂戴した方々を下記にご紹介させていただきます(11/1~12/31)。



【11 月】

■法人サポーター(ゴールド): 有限会社起福/株式会社エイ・エヌ・エス ■法人サポーター(シルバー): 株式会社アミノ/株式会社コズ/株式会社 M's-A/NPO 法人ひよこ会/株式会社グランドビジョン ■法人サポーター(ブロンズ): more than now ■支援企画寄付: 株式会社愛媛企画/有限会社アップライジング/スマイルキューブ株式会社/ソフトバンクモバイル株式会社/リネットジャングル株式会社 ■個人サポーター: 鳴海慎造

【12 月】

■法人サポーター(ゴールド): 株式会社幸せの種/FLS japan 合同会社/ツヤトモ株式会社/株式会社創建設計/株式会社ウィルワン ■法人サポーター(シルバー): 株式会社野田自動車工業所/株式会社大平ホテル/株式会社西澤ロイ事務所/株式会社セキュリティフォーユー/アサヒ・ドリーム・クリエイティブ株式会社 ■法人サポーター(ブロンズ): 株式会社アースクリーン東北/花野井ピアノ音楽院 ■支援企画寄付: 有限会社アップライジング/スマイルキューブ株式会社/ソフトバンクモバイル株式会社/リネットジャングル株式会社/リンベル株式会社 ■スペシャルサポーター: 河野孝 ■個人サポーター: 鳴海慎造/本塚雄一郎 ■「国境なき教師団」応援団: 越智紀美子 ■個人寄付: 有本恒彦

※以上敬称略